

OAP 新環境宣言 2010

「環境にやさしい物流」と「社会貢献」を目指して

平成22年4月16日

《主旨》

われわれ大阪アパレル物流協議会（OAP）は、「地球環境問題」を会員全体の課題と認識し、会員それぞれが環境保全に配慮した事業活動を推進するべく、平成17年4月にOAP組織内に専門委員会として「環境委員会」を設置し、積極的かつ継続的に環境問題に取り組んで参りました。

それから5年、改正省エネ法による「CO2排出原単位削減の義務付け」や、「環境融資」の登場、「カーボンオフセット」のサービス提供など、環境対策が企業の差別化戦略のひとつに位置づけられるようになって来ました。いまや企業の社会的責任として、「環境負荷低減」と「物流改善」に取り組むことが、企業活動を続けるうえでの「絶対必要条件」となりつつあります。その意味で昨年「環境委員会」を「環境・物流管理部会」と改めました。これからは時代が要求する新しい「環境にやさしい物流」を目指して活動をして行きます。

また、これからは環境対策を社会貢献とリンクすることで、OAP会員各社が小さなことから、環境に対する行動を示すことにより、企業・組織はもとより個人・家庭においても「地球環境に配慮し地球を守る」と言う意識を高めることになり、それが「社会貢献」へ繋がる今日的意義は深いものと考え、社会貢献活動を積極的に推進して行きます。

《具体的取り組み事項》

1. 法・条例の講習と遵守
2. 包装材の4R推進・・・業務改善活動を通じて
 - ①ゴミになる物の拒絶(Refuse)・・・不要なものを購入しない
 - ②使用量削減 (Reduce)・・・百貨店セール統一値札の研究等
 - ③再使用 (Reuse)・・・通い箱の研究等
 - ④再利用 (Recycle)・・・最後の手段としてのリサイクル
3. 廃棄物削減への取り組みとRPFの推進
 - ①PPバンドの使用中止
代替品等の研究・発掘・提案
 - ②輸入品梱包資材（PPバンド、塩ビ品）の見直し
 - ③RPF（Refuse Paper & Plastic Fuel）の推進
古紙及びプラスチックを原料とした高カロリーの固形燃料化を進める
4. CO2排出量削減への取り組み
 - ①共同配送の更なる拡大
 - ②積載効率の研究
 - ③エコドライブの実践・低公害車の採用
 - ④モーダルシフトの研究
 - ⑤太陽光発電の利用研究
5. 省エネルギーへの取り組み
 - ①LED等省電力の研究、使用
6. グリーン購入の促進
7. エコキャップ活動の推進
8. チャレンジ25への登録

以上